

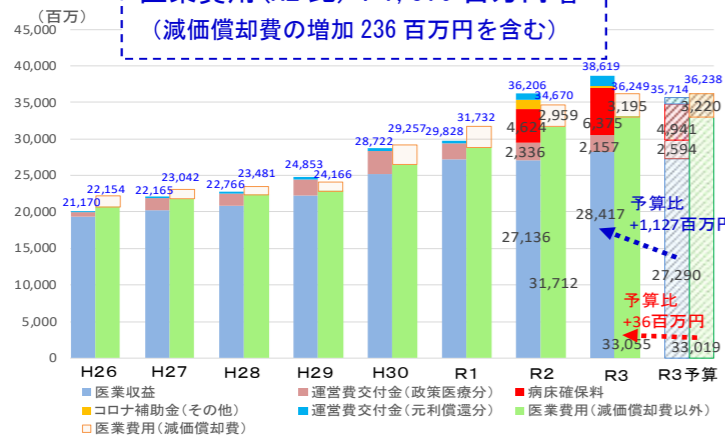
令和3年度 奈良県立病院機構 決算の概要

資料 1

【**医業収益・費用**】 ○医業収益は、平均在院日数の短縮や適切な転院調整による病床確保、入院単価の上昇、外来患者数の増加等により、**機構全体で令和2年度よりも1,281百万円増加し、予算に対して1,126百万円増加した。**
 ○医業費用は、高度医療の増加等による材料費の上昇や職員数の増加、働き方改革への対応による給与費の増加等により、**機構全体で令和2年度よりも1,579百万円増加し、予算に対して11百万円増加した。**

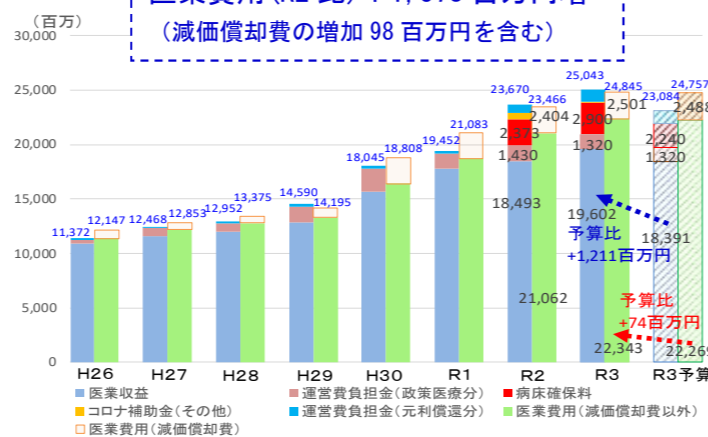
【機構全体】

医業収益(R2比) : 1,281百万円増
 医業費用(R2比) : 1,579百万円増
 (減価償却費の増加236百万円を含む)



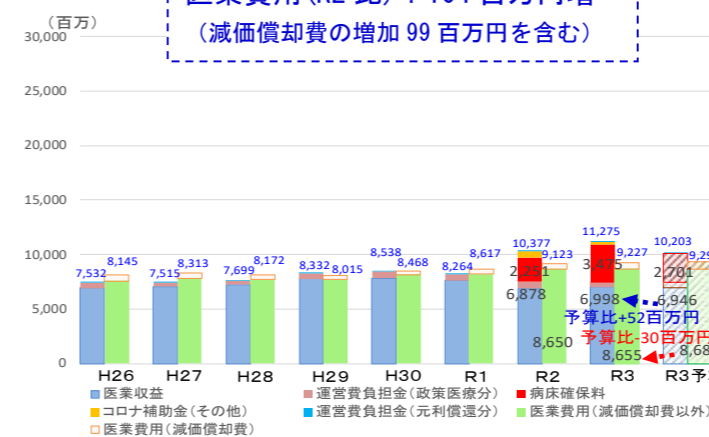
【総合医療センター】

医業収益(R2比) : 1,109百万円増
 医業費用(R2比) : 1,378百万円増
 (減価償却費の増加98百万円を含む)



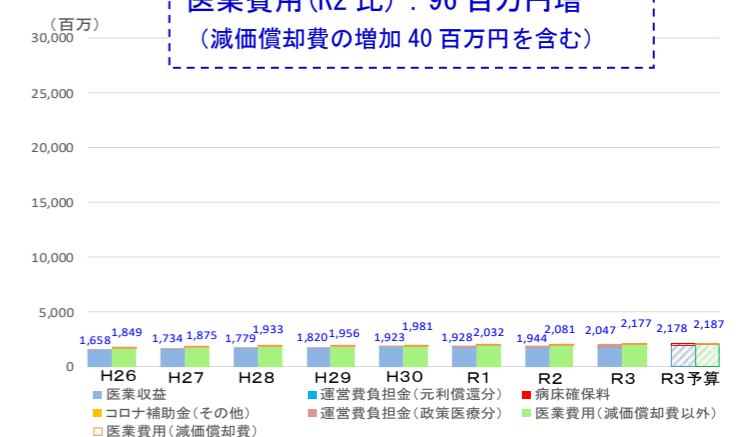
【西和医療センター】

医業収益(R2比) : 120百万円増
 医業費用(R2比) : 104百万円増
 (減価償却費の増加99百万円を含む)



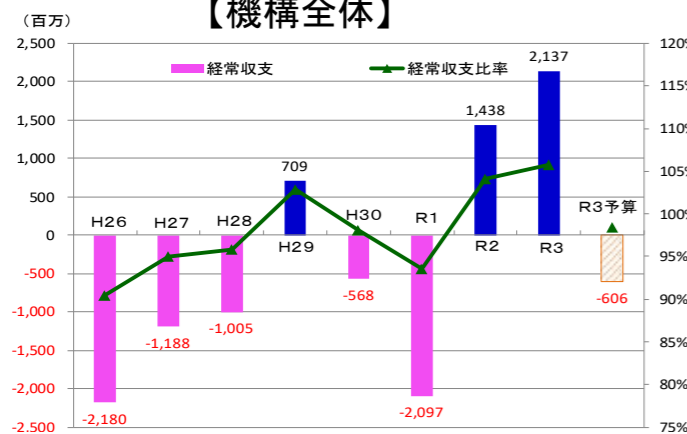
【総合リハビリテーションセンター】

医業収益(R2比) : 52百万円増
 医業費用(R2比) : 96百万円増
 (減価償却費の増加40百万円を含む)

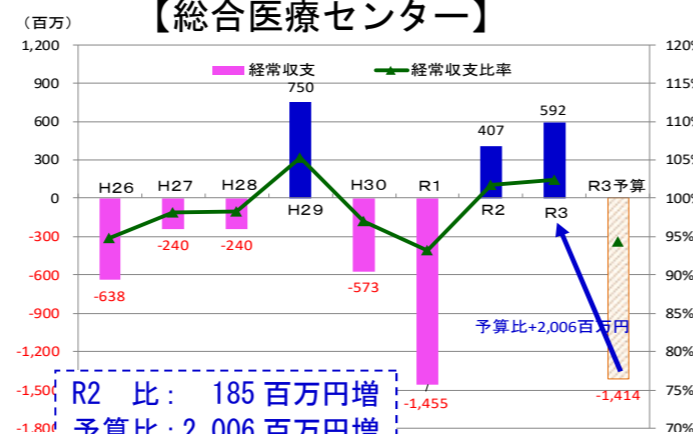


【**経常損益**】 ○感染症による影響を受けながら、上記の医業にかかる収益確保に加え、病床確保料等の収益を得た結果、経常利益は**令和2年度よりも699百万円増加し、2,137百万円となった。予算に対しては2,738百万円増加し大きく改善した。**

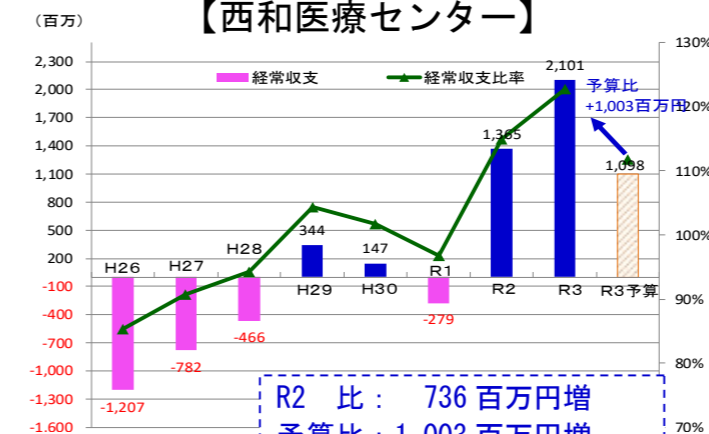
【機構全体】



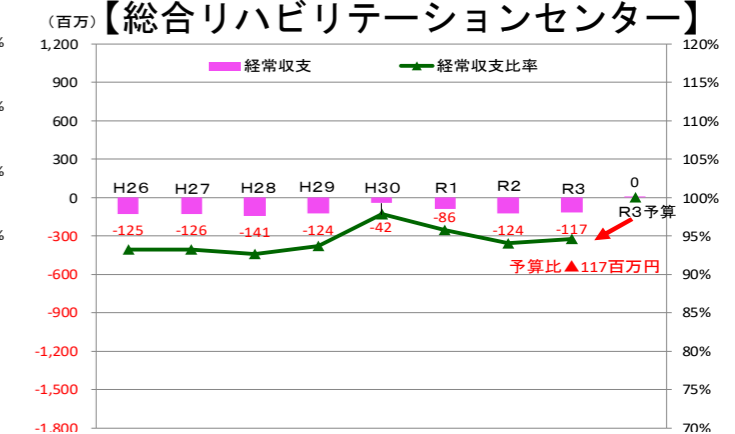
【総合医療センター】



【西和医療センター】



【総合リハビリテーションセンター】



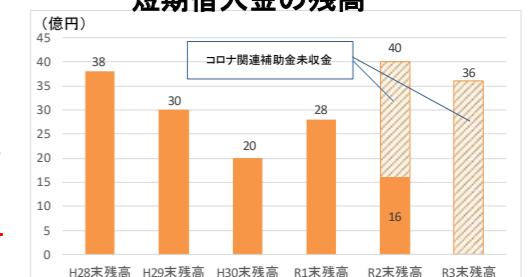
【損益について】

- 医業損益▲7,833百万円 (前年度比▲298百万円、予算比+1,115百万円)
- 営業損益+2,205百万円 (前年度比+781百万円、予算比+2,857百万円)
 (医業損益に運営費交付金3,400百万円、その他営業収益7,351百万円等を加算)
- 経常損益+2,137百万円 (前年度比+699百万円、予算比+2,738百万円)
 (営業損益から営業外損益▲68百万円を減算)

【キャッシュ・フロー】

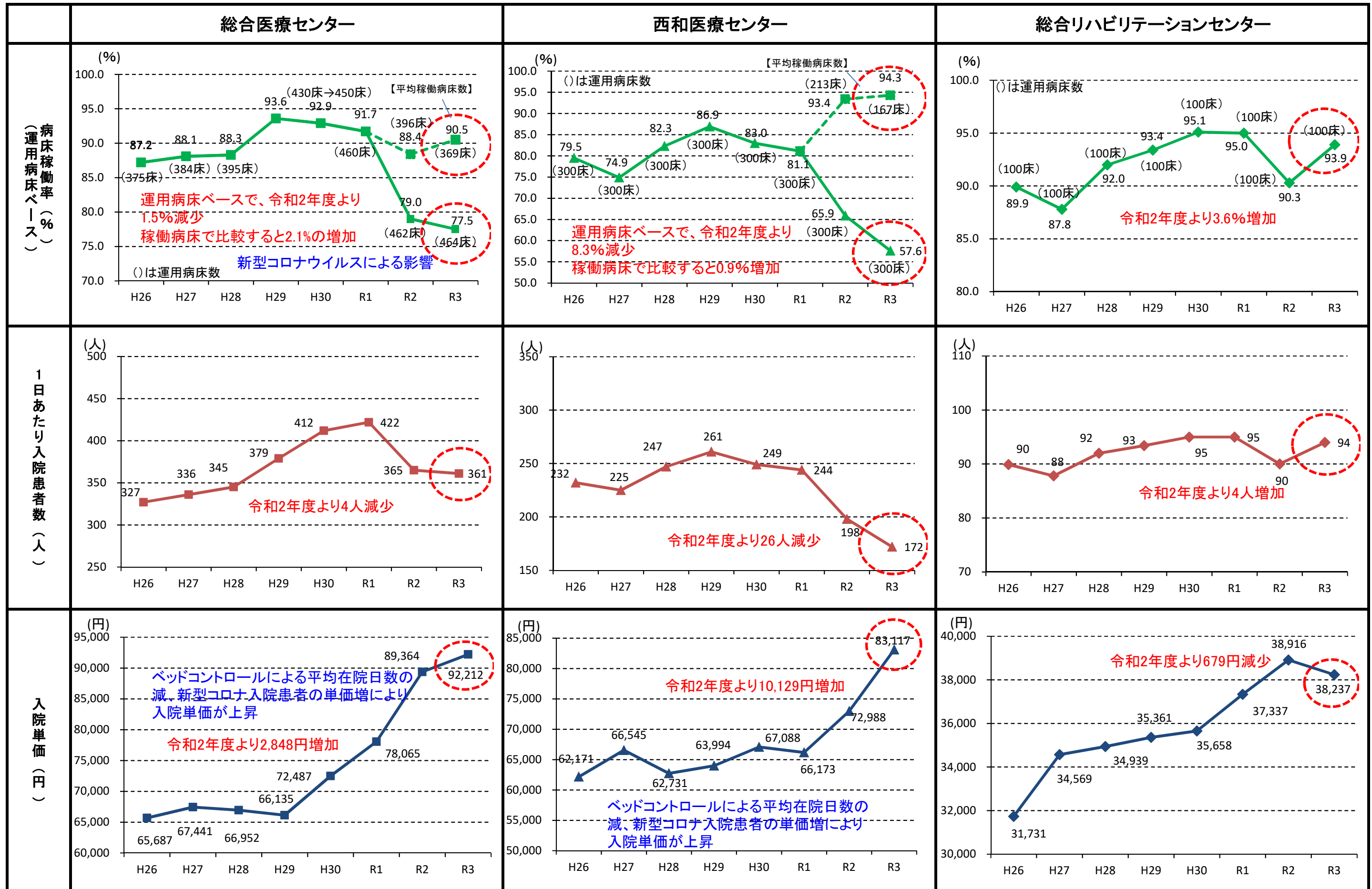
短期借入金の残高は36億円となっているが、コロナ関連補助金未収金が約42億円発生したため、**実質の短期借入金**の必要額は**0円**となっている。

短期借入金の残高



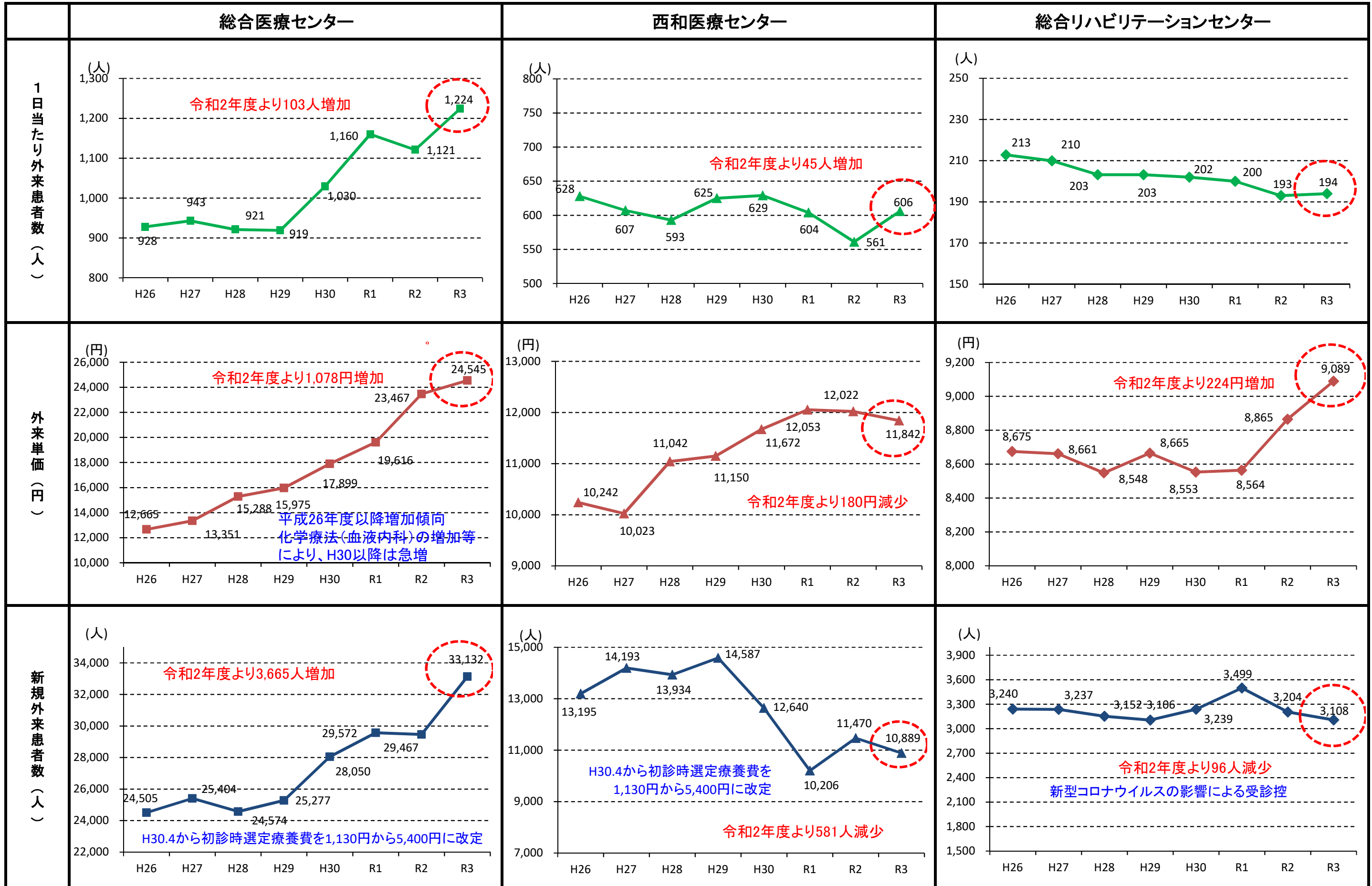
入院

各病院における診療指標の推移①(入院関係指標)



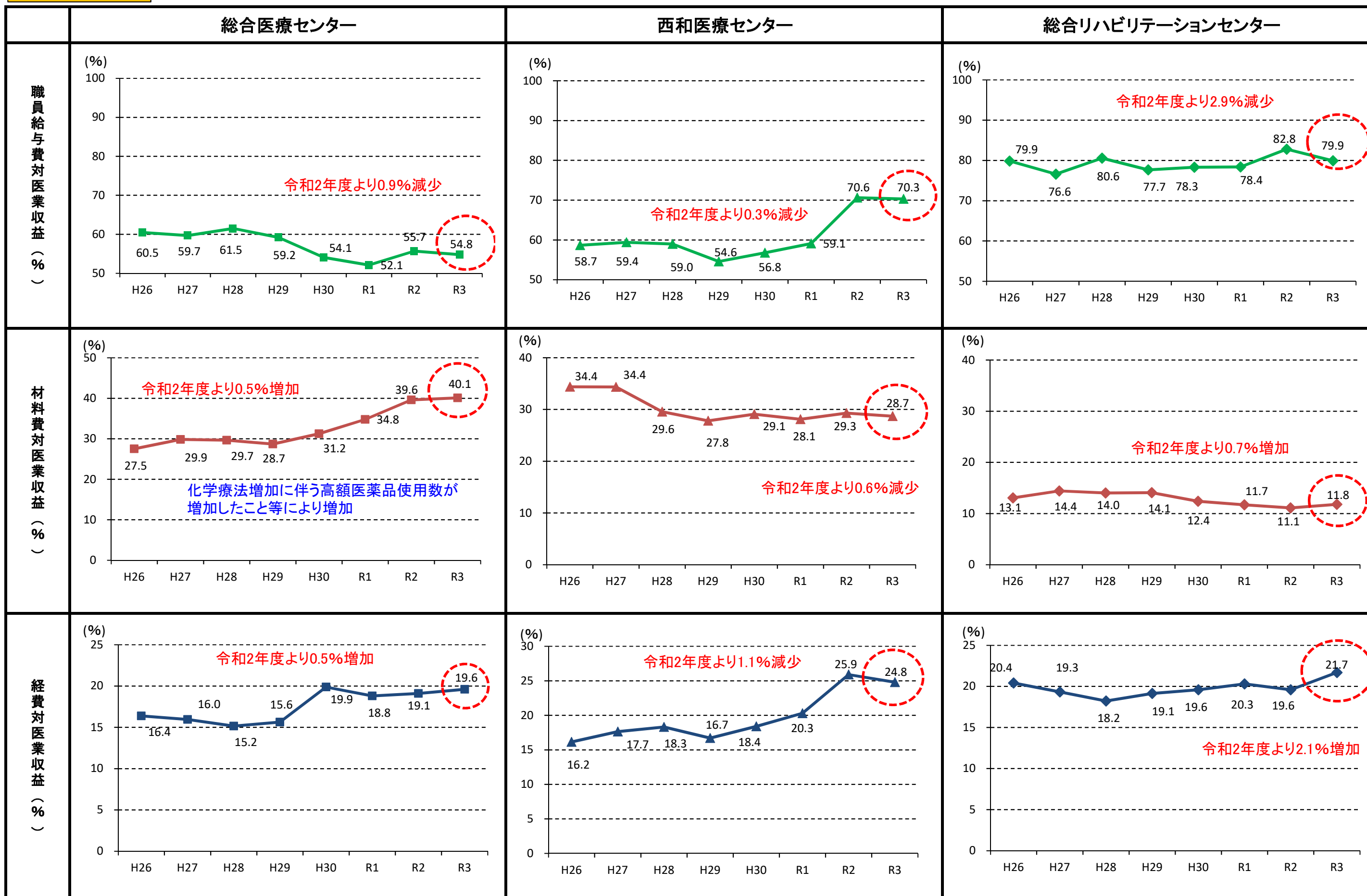
外来

各病院における診療指標の推移②(外来関係指標)



費用

各病院における診療指標の推移③(費用関係指標)



その他

各病院における診療指標の推移④(その他指標)

